

## 平成27年度こんにやく原料需給計画

(単位:精粉20kg/袋)

| 項目              | 需要量<br>(消費量) | 供給量     |         |        |                     |           | 期末在荷量   |
|-----------------|--------------|---------|---------|--------|---------------------|-----------|---------|
|                 |              | 期初在荷量   | 国内生産量   |        | 輸入量                 | 供給量合計     |         |
|                 |              |         | 生産量     | 春切り量   |                     |           |         |
| 年度(27.11~28.10) |              |         |         |        |                     |           |         |
| 計画値計算式          | a=f-g        | b:前年期末  | c:実績    | d:前年並  | 原料e:注2参照<br>製品e:前年並 | f=b+c+d+e | g:注2参照  |
| 原料(国内・輸入)数量見込   | 291,300      | 142,000 | 263,600 | 5,000  | 26,300              | 436,900   | 145,600 |
| (前年度実績)         | 286,100      | 149,000 | 247,500 | 5,000  | 26,800              | 428,200   | 142,000 |
| 製品輸入数量見込        | 32,200       |         |         |        | 32,200              | 32,200    |         |
| (前年度実績)         | 32,200       |         |         |        | 32,200              | 32,200    |         |
| 合計              | 323,400      | 142,000 | 263,600 | 5,000  | 58,500              | 469,100   | 145,600 |
| (前年度実績)         | 318,300      | 149,000 | 247,500 | 5,000  | 58,900              | 460,300   | 142,000 |
| 前年比(%)          | 101.6%       | 95.3%   | 106.5%  | 100.0% | 99.3%               | 101.9%    | 102.5%  |

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおりである。なお、③、⑤及び⑥は平成27年度こんにやく原料需給計画から変更している。また、生産量、在荷量に関しては平成27年度からの計算方法の変更に伴い21年度まで遡って再計算しているため、今回作成の平成27年度こんにやく原料需給計画と前年度までの作成の数値とは連続しない。

①原料需要量は、原料供給量(436,900袋)から期末在荷量(145,600袋)を差し引いた、291,300袋と見込んだ。

②期初在荷量は、平成26年度期末在荷量142,000袋とした。

③生産量は、平成27年産(61,300トン)から算出(61,300×1,000×歩留(8.599%)÷20kg=263,559)し、263,600袋と見込んだ。

④春切り量は、前年並みの5,000袋と見込んだ。

⑤原料輸入数量は、過去5年間の原料輸入量と国内産精粉価格の比(0.414、0.598、0.606、0.521、0.525)の中間3年平均(0.548(単位:袋/(円/20kg)))に全国蒟蒻原料組合調査の平成28年2月時点の精粉価格48,000円/20kgを乗じて推計し、26,300袋とした。

⑥期末在荷量は、全農・全原協の期末在荷量と、全国製造業者の期末在荷量を以下のように推計し、足し合わせた値である145,600袋(25,633+119,988=145,621)とした。

全農・全原協: 過去5年の精粉換算国内生産量対比期末在荷量比率の中間3年平均(9.7%)に生産量(263,559袋)を乗じて推計(25,633袋)。

製造業者: 全こん連調査に基づき、過去5年の買入量対比期末在荷量比率の中間3年平均(40.8%)に全国製造業者買入れ量(国内生産量(春切り量を含む)+原料輸入量+全農・全原協の在荷量増減=294,036袋)を乗じて推計(119,988袋)。

⑦製品輸入数量は、前年並みの32,200袋と見込んだ。